



メディアデザインの専門家らが仕事への向き合い方などを語った講演会＝浜松市中区の静岡文化芸術大

映像作家ら仕事語る

静岡文化
芸術大 8日までイベント

浜松市中区の静岡文化芸術大で8日まで、メディアデザインに関する専門家の講演やワークショップ、学生作品展示などを繰り広げた講演会が行われ

た。映像作家・演出家の花房伸行さん、アーティストの真鍋大度さん、マーザ・アニメーションプラネット執行役員の内田治宏さんが、この道に至るまでの経緯や仕事への向き合い方などを語った。

「映像とダンスを融合させた新しいショーが世界で話題になった花房さんは「中学の先生がデザイン科の高校を紹介してくれた」と芸術の道を歩むきっかけを紹介した。

真鍋さんは、リオデジャネイロ五輪閉会式で行われた東京五輪への引き継ぎセレモニーを技術演出担当として支えた。「自主開発など挑戦できる環境を保ち、仕事に生かしてい

る」と仕事の流儀を明かした。

内田さんは常に意識すべきこととして「興味関心を明確にする」

などを挙げ、「できない理由ではなく、できる理由を考えて」と同業を志す学生らに呼び掛けた。